

学校 教育 目標	洋々たる未来を 光り輝いて生きる力の 土台をつくります 【知】基礎基本をしっかり学び、最後まであきらめず取り組む力をつけます 【徳】他者を思いやる心を持ち、善悪を正しく判断する力をつけます 【体】規則正しい生活をし、自他の生命や体を大切にすることを力をつけます 【公】郷土を大切に、社会の役に立つ行動をとることができる力をつけます 【開】コミュニケーション能力を身に付け、国際社会で生きる力をつけます					
	学校 概要	創立 43 周年	学校長 西山 雅人	副校長 中村 文則	3 学期制	一般学級：9 個別支援学級：2
児童生徒数： 322 人		主な関係校：洋光台第二小学校・洋光台第四小学校				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	洋光台第二中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<自ら学びに向い高めようとする力> <身に付いた知識・技能を活用する力> <社会に関心を持ち貢献する力>	洋光台第二中 洋光台第二小 洋光台第四小	認め合い、学びあい、心身共に健やかに生きる子ども ・道徳教育や人権教育を通して、自尊心や自己有用感を高める教育の実践。 ・主体的・対話的で深い学びの実現を目指して、指導法改善や授業研究の取組。 ・9年間の成長を見通した、児童生徒指導や特別支援教育の情報交換の実行。

中期 取組 目標	○「誰もが安心して豊かに、楽しく生き生きと生活できる学校」をめざします。 ○「学校職員こそ、子どもにとって最大・最高の教育環境」という自覚と誇りを胸に、日々の教育活動を実践します。
	(1) 授業力・学級経営力・生徒指導力の向上を図ります。 (2) 「挨拶」「清掃」「時間管理」など職員が率先垂範して生徒の意識と意欲を喚起します。 (3) 日々の校内巡回や施設点検に努めて、環境整備・環境美化を強化します。 (4) 先見性と俯瞰性をもった組織運営を推進します。 (5) 「誠意・熱意・創意」を常にして信頼される学校を目指します。

重点取組分野	具体的取組
確かな学力 担当 学習指導	①校内授業研や小中一貫教育推進ブロック授業研において積極的に授業公開し、授業改善につなげる。②朝学習や少人数指導を効果的に取り入れて、自ら学びに向かう意欲を高める。③学校評価や授業評価を実施し、評価結果は真摯に受け止めてより良い授業づくりに努める。
豊かな心 担当 道徳指導	①日頃の学校生活や学校行事を通して道徳的な思考力・判断力・表現力を意図的・計画的に育てる。②道徳の授業を中心に、言語活動を通して自分の考えを相手に伝えたり、お互いを理解する機会を設ける。③地域行事などに積極的に参加して地域理解を深め、地域貢献に努める。
健やかな体 担当 体育健康	①新体力テストを基に、体力向上に向けて生徒一人ひとりの目標を定め、実践する。②体育祭を中心とした体力向上運動と、一校一実践運動の「サーキットトレーニング」を通して、体力の向上を図る。③体育・健康プランを中心に、学校体育を充実させ、継続した運動習慣の確立を図る。
人権教育 担当 人権教育推進	①人権講演会などを企画して、人権感覚を身に付けるとともに自己肯定感が高まるように働きかける。②学級活動やY-Pアセスメントなどを活用して、良好で円満な人間関係の醸成を図る。③職員人権研修では、人権問題の現状や課題について職員一人ひとりが知識を広め理解を深める。
キャリア教育 担当 進路指導	①職業講話・職場体験など発達段階に応じた取組を行う。特に、3年生では進路実現につながる情報の発信に努める。②図書室内に「キャリア学習コーナー」を設け、情報提供を行う。③自己の興味関心や特性を理解させ、進学や将来の職業観など、キャリアアップへの展望を持たせる。
特別支援教育 担当 特別支援委員会	①特別支援委員会の定期開催と内容の充実を図り、配慮を要する生徒に対する理解を深める。②スクールカウンセラーや区役所等の関係機関と定期的な連絡を取りながら、適切な支援方法を探る。③個別支援学級への積極的な関与と新設した国際教室の円滑な運営に努める。
教育環境整備 担当 保健安全・教務	①安全で安心な生活環境を保障するために定期的な施設点検に努め、必要に応じた修繕を施す。②余剰教室など学校施設の効率的な活用方法を検討する③校内の掲示物や美化活動を生徒会と連携しながら見直す。④職員室の情報機器を活用し、職員の情報の共有化を図る。
学校運営協議会 担当 管理職・生徒指導専任	①地域行事に積極的に参加する体制を整え、地域との交流と相互理解を図る。②地域防災に対して中学校ができる内容を整理するとともに、啓発活動を進める。③学校・地域コーディネータや各自治会の代表者と協働して学校運営協議会設置の準備を進める。
いじめへの対応 担当 生徒指導	①生徒一人ひとりの状況について記録を作成し、特に支援が必要な生徒には、校長を中心とした校内委員会で支援を進める。②生徒の状況についての情報交換を密に行う。③いじめを認知した場合は、被害生徒・保護者に寄り添い加害生徒の指導とともに生活環境を改善を図る。
人材育成・組織運営 (働き方改革) 担当 管理職	①メンターチームを生かして、経験の浅い職員の成長を図る。②研究授業、校内研修を計画的に実施して職員の資質向上を目指す。③業務内容精選や会議縮減を行い、多忙化解消・業務軽減に向けて改善を図る。④部活動休養日の趣旨を理解して、効率的・効果的な部活動運営を推進する。⑤職員室業務アシスタントの機能を生かす。